

平成20年度アンケート	
1 家庭生活について	
問1	日常の役割分担
問2	男性の家事について
問3	子どもの育て方についての考え
問4	男性の育児参加について
問5	教育現場で必要なこと
2 ワーク・ライフ・バランスについて	
問6	ワーク・ライフ・バランスについての認知
問7	生活の中での優先度
3 介護について	
問8	介護が必要になった場合(在宅か施設か?)
問9	介護についての希望(誰に介護してもらいたいか)
4 ドメスティック・バイオレンス(以下DV)について	
問10	DV経験の有無について
問11	受けたDVの種類
問12	DVを受けたときの対応
問13	DV被害者への公的支援の必要性について
問14	公的支援の種類について
問15	DVの原因についての考え
問16	DVをなくすために必要なこと
5 社会活動について	
問17	社会活動に参加しているか
問18	参加している・参加したい活動の種類
問19	社会活動への参加を阻害するもの

平成26年度アンケート	
回答者属性	
問1	性別
問2	年齢
問3	既婚・未婚
問4	家族構成
問5	子どもの有無
問6	居住地域(小学校区)
問7	居住年数
男女共同参画全般	
問8	男女共同参画に関する事項や用語の認知度
問9	男女平等になっていると思われる項目
問10	「男は仕事、女は家庭」という考え方について
問11	男性の家事について
問12	子どもの育て方についての考え
問13	教育現場で必要なこと
ワーク・ライフ・バランスについて	
問14	生活の中での優先度
問15	男性が家事・子育て・介護に積極的に参加するために必要なこと(新規設定:県アンケート参考) 家事や地域活動への参加を進めていくために必要なこととして、県アンケートより詳しい回答を得たいと考え設定した。
問16	ワーク・ライフ・バランス実現のために必要なこと(新規設定:県アンケート参考) ワーク・ライフ・バランス推進のために必要なこととして、県アンケートより詳しい回答を得たいと考え設定した。
労働について	
問17	回答者とその配偶者の職種について
問18	家族協定について
問19	収入の有無
問20	職場での男女格差について

R元年度アンケート	前回調査からの変更	計画書への記載	H26→R元の変更の対応
1 男女共同参画について			
問1	男女平等になっていると思われる項目	変更	男女の不平等感について、「社会通念・習慣・しきたりなど」で平等と考える市民の割合
問2-1	「男は仕事、女は家庭」という考え方について	同じ	「男は仕事、女は家庭」と考える市民の割合
問2-2	問2-1賛成と回答した人に対してその理由	追加	
問2-3	問2-1反対と回答した人に対してその理由	追加	
問3	子どもの育て方についての考え(男の子は男らしく、女の子は女らしく…)	同じ	
問4-1	地域の行事・役割で男女間で格差を感じていることがあるか	変更	
問4-2	格差を感じている内容	変更	
問5	男女共同参画に関する事項や用語の認知度	変更	草津市男女共同参画推進条例の浸透割合
2 ワーク・ライフ・バランスについて			
問6-1	生活の中での優先度(希望)	変更	
問6-2	生活の中での優先度(現実)	変更	
問7	一日の家事、育児、介護、通勤、仕事、地域活動、余暇活動等の時間(平日)(休日)	追加	平日の家事に関する生活時間の男女の差(平日の家事に要する平均時間)
問8	男性が家事・子育て・介護に積極的に参加するために必要なこと	変更	
問9	ワーク・ライフ・バランス実現のために職場で必要な取り組み	変更	
3 労働について			
問10	回答者とその配偶者・パートナーの職業について	変更	
問11-1	問10家事専業や無職と回答した人に対して 今後働きたいか	追加	
問11-2	問11-1働きたいと回答した人に対して働いていない理由	変更	
問12	女性が出産・子育てなどが理由で辞めることなく、仕事を続けるために必要なこと	変更	
問13	介護が理由で辞めることなく、仕事を続けるために必要なこと	変更	
問14	女性の管理職が少ない理由	同じ	
4 ドメスティック・バイオレンス(以下DV)について			
問15	セクハラを受けた経験の有無	変更	

平成20年度アンケート	
6 地域社会について	
問20	地域に男女間で不平等に感じていることがあるか
問21	不平等に感じている内容
問22	不平等の原因
7 労働について	
問23	回答者とその配偶者の職種について
問24	家族協定について
問25	収入の有無
問26	職場での男女差別について
問27	職場における男女差別の例
問28	職場における男女差別の原因について
問29	働いていない理由について
8 セクシュアル・ハラスメント(以下、セクハラ)について	
問30	セクハラであると思うこと
問31	セクハラを受けた経験の有無
問32	セクハラを受けたときの対応
問33	セクハラ防止のため必要な対策
9 男女共同参画全般	
問34	女性が仕事を持つことについて
問35	「男は仕事、女は家庭」という考え方について
問36	男女平等になっていると思われる項目
問37	各種相談窓口の認知度
問38	男女共同参画に関する事項や用語の認知度
問39	草津市に今後求めること
問40	市の施策への意見
問41	属性(性別・年齢層等)

平成26年度アンケート	
問21-1	職場における男女格差の例
問21-2	職場における男女格差の原因について
問22	働いていない理由について
問23	女性の理想的な働き方について(新規設定:県アンケート参考) 県アンケートでは、男性のみを対象とした設問だが、女性自身の職業観も重要と考え設定した。
問24	女性が仕事を続けるために必要なこと(新規設定:県アンケート参考) 県アンケートより詳しい回答を得たいと考え設定した。
問25	女性の管理職が少ない理由(新規設定:県アンケート参考) 県アンケートより詳しい回答を得たいと考え設定した。
セクシュアル・ハラスメント(以下、セクハラ)について	
問26	セクハラであると思うこと
問27	セクハラを受けた経験の有無
問28	セクハラを受けたときの対応
問29	セクハラ防止のため必要な対策
問30	メディアにおける性や暴力的な表現について(新規設定) セクシャル・ハラスメントやDVとメディアとの関連について、必要な項目と考え設定した。
問31	メディアにおける性や暴力的な表現の問題点について(新規設定)
ドメスティック・バイオレンス(以下DV)について	
問32	DV経験の有無について 受けたDVの種類
問33	DVを受けたときの対応
問34	DV被害者への公的支援の必要性・公的支援の種類について
問35	各種相談窓口の認知度
自治会・町内会について	
問36	地域に男女間で不平等に感じていることがあるか
問37	不平等に感じている内容
問38	不平等の原因
草津市の取り組みについて	
問39	草津市の取り組みの認知度(新規設定) 男女共同参画審議会での意見を踏まえ設定した。
問40	草津市に今後求めること
自由欄	市の施策への意見

R元年度アンケート		前回調査からの変更		計画書への記載	H26→R元の変更の対応
問16-1	DVを受けた経験の有無	変更		P19	前回同様 H26県調査を元に変更
問16-2	DVを受けたときの対応	変更	DVの対応方法として「どこにも相談しなかった」人の割合	P19	前回同様、選択肢変更 内閣府の調査を元に変更
問17	各種相談窓口の認知度	変更	男女共同参画センターの「女性の総合相談窓口」を知っている人の割合	P20	前回同様、選択肢変更 窓口を実態に合わせ変更
5 市の施策・センターについて					
問18	男女共同参画センターにどのような機能・事業があれば良いか	追加			センターで希望する事業の設問を追加
問19	どのような相談、相談体制があれば良いか	追加			センターで希望する相談の設問を追加
問20	特に力を入れるべき施策	変更			前回同様、選択肢変更、すべてに○→3つまでに変更
自由欄	市の施策等に関する意見	同じ			
6 回答者属性					
問21	性別	変更			前回同様、選択肢変更 マイノリティーの方への配慮
問22	年齢	変更			前回同様、選択肢変更 80歳以上を追加
問23	既婚(事実婚含む)・未婚	変更			前回同様、選択肢変更 言葉を変更
問24	家族構成	変更			前回同様、選択肢変更 回答しやすいように項目を変更
問25	子どもの年齢・学齢	変更			前回同様、選択肢変更 子どもの年齢を聞くように変更
問26	居住年数	変更			前回同様、選択肢変更 回答しやすいよう項目減らした